

形名	形名コード
GT-P761	58R 057
GT-P791	58R 058

電気給湯機用 プレミアムタイプ用浴槽アダプター

形名

GT-P761、GT-P791

※適用機種は、当社カタログ・据付工事説明書に記載してあります。

※本製品は、プレミアムタイプ専用です。極性がありますので、ふろの行き、戻り配管は正しく接続してください。

※3階の浴槽には使用できません。(貯湯ユニットが1階に設置されているとき)

据付工事説明書 販売店・工事店様用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この「据付工事説明書」を必ずお読みください。据付工事は販売店または専門業者が施工してください。

安全のために必ずお守りください



注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつきます。



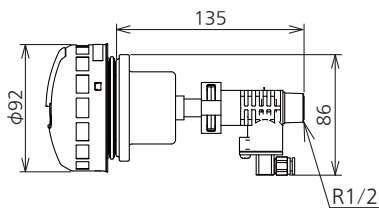
浴槽アダプターの各部や突起に注意して取り付ける
(けがの原因)

指示に従う

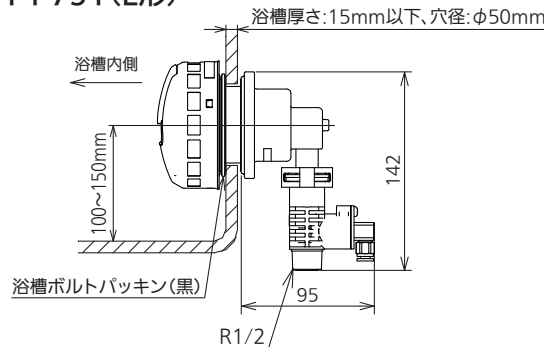
【お願い】•この据付工事説明書は、工事終了後に必ずお客さまにお渡しください。

取付図

GT-P761(ストレート形)

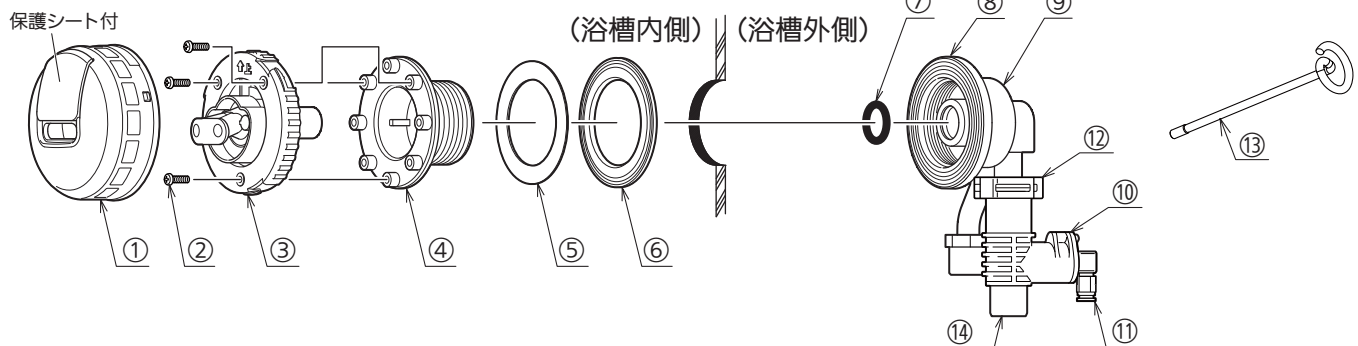


GT-P791(L形)



1. 使用部品

※一人施工用保持棒(⑬)以外は組付けられています。



プレミアムタイプ用浴槽アダプター

番号	品名	数量	番号	品名	数量	番号	品名	数量
①	フィルターセット	1	⑥	浴槽ボルトパッキン(黒)	1	⑪	空気チューブ接続口	1
②	ねじ	3	⑦	Oリング	1	⑫	クイックファスナー	1
③	仕切板セット	1	⑧	浴槽受けパッキン	1	⑬	一人施工用保持棒	1
④	浴槽ボルト	1	⑨	浴槽アダプターボディ	1	⑭	1/2ポリキャップ	2
⑤	スペラシタ	1	⑩	旋回流ノズル	1	⑮	据付工事説明書(本書)	1

【お願い】•同梱の浴槽アダプター部品以外は使用しないでください。

●①フィルターセット前面の保護シートは、工事終了後にはがしてください。

●⑫クイックファスナーは、取外し厳禁です。

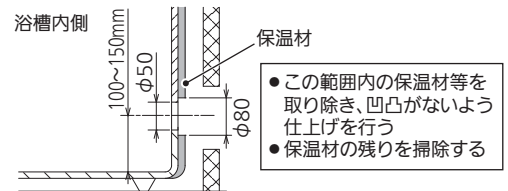
2. 施工上のご注意

- 最大配管長(片道)15m以下・最大配管曲がり(片道)10曲がり以下・配管断熱材の厚み10mm以上としてください。
(架橋ポリエチレン管(13A)使用時、曲がり数は10曲がり以下としてください。エルボ継手の場合は5カ所までとしてください。)
- 貯湯ユニットと浴槽の高低差は3m1山までとしてください。
- 本製品は、極性があります。ふろの行き、戻り配管は正しく接続してください。
- 空気チューブと保温材(空気チューブ用)は、必ず当社別売部品を使用してください。
空気チューブ:GT-PCB5、GT-PCB10、GT-PCB15 保温材(空気チューブ用):GT-PDN5
- ふろ配管工事終了後は、必ず専用の漏れ検査治具(別売部品 GT-75KMA)を使用して漏れ検査を行なってください。

3. 取り付け方法

(1) 浴槽の底部から100~150mmの位置にΦ50mmの穴を開け、パッキンの当たり面を平滑にする

- ※浴槽のコーナーRにかからないように注意してください。
(平面部でないとうみれの原因となります。)
- ※浴槽の外側に保温材があるものは、直径約80mmの範囲内を丁寧に取り除いてください。取り除く際、穴のバリ等でけがをしない様、注意してください。
- ※保温材が残っているとシール性が悪くなり、うみれの原因となります。



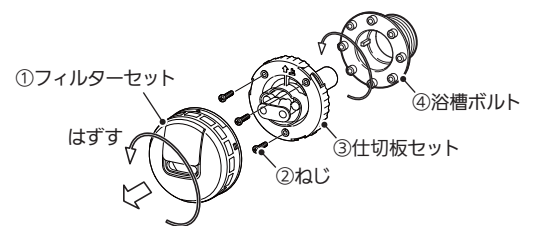
(2) ①フィルターセットを左に回して外す

(3) ③仕切板セットの②ねじ3本を外し、③仕切板セットを外す

- ※ねじの紛失にご注意ください。

(4) ④浴槽ボルトを左に回して、⑨浴槽アダプターボディ(⑧浴槽受けパッキン付)から外す

- ※⑥パッキン類、⑦Oリングの紛失にご注意ください。
- ※⑦Oリングは、⑨浴槽アダプターボディから外さないでください。



(5) ⑭1/2ポリキャップを外し、⑨浴槽アダプターボディとふろ配管を接続する

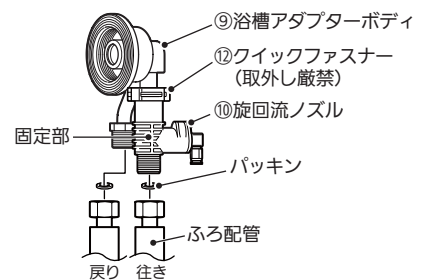
- ※極性があります。ふろ配管の「行き」と浴槽アダプターの「行き」(「戻り」と「戻り」)を正しく接続してください。

- ※R1/2ねじと配管の接続は、必ずパッキン(現地調達品)を使用してください。パッキンを使用しないと水漏れの原因となります。
- ※工具で締め付ける前に、シート面があたるまで手回して締め付けてください。

- ※ふろ配管締め時は15~20N・mで締め付けてください。
旋回流ノズルの固定部を押さえ付けて締めないと、樹脂部分が破損の原因となります。また、無理にねじ込むと、樹脂ねじが破損します。

- ※⑩旋回流ノズルは絶対に⑨浴槽アダプターボディから外さないでください。水漏れの原因となります。
- ※浴槽アダプターやふろ配管に異物が混入しないようご注意ください。

⑭1/2ポリキャップを外した図で説明しています。

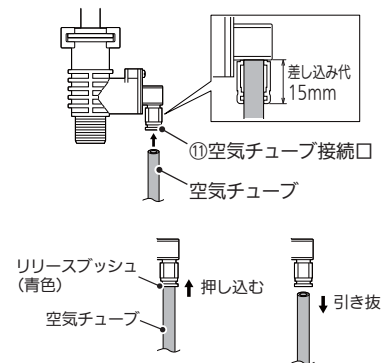


(6) 空気チューブ(当社別売部品)を⑪空気チューブ接続口に差し込む

- ※空気チューブは奥に当たるまで差し込んでください。(差し込み代=15mm)
差し込みが足りないと、接続部からの空気が吸い込まれ、ふろ自動中に水位がばらつく原因となります。
- ※十分に差し込まれると、空気チューブ接続口内部のストッパーでロックされます。
軽く引っ張って外れないことを確認してください。
- ※浴槽アダプターやふろ配管、空気チューブに異物が混入しないようご注意ください。

空気チューブの取り外し方法

- ジョイント部分のリリースブッシュを右図の矢印方向に強く押しながら、空気チューブを引き抜いてください。一度取り外した空気チューブを再使用するときは、チューブ端部を15mmを切り落としてから使用してください。一度引き抜いた空気チューブは、引き抜かれる際、傷がつき、そのまま使用すると接続部から空気が吸い込まれ、ふろ自動中に水位がばらつく原因となります。



空気チューブを給湯機(貯湯ユニット)に接続する際の注意事項

- 空気チューブを保温・遮光するために、必ず保温材(空気チューブ用)を覆ってください。
- 配管の際は、保温材を巻いたふろ配管に沿わせ、キャンパステープ等で巻いてください。直接ふろ配管には接触させないでください。(熱でチューブが劣化するおそれがあります。)
- 空気チューブの切断はカッターを使用し、切断面を直角に、つぶれや凹凸がないように切断してください。ニッパー、ペンチは使用しないでください。

※切断面を1mmより大きく斜めに切断すると、ホットあわー以外のふろ循環運転中に気泡が出続ける原因となります。

※空気チューブにつぶれや異物によるつまりがあると、ホットあわー動作中に気泡が出ない原因となります。

- 端部16mm(接続の際、ジョイント部に挿入する部分)は絶対に傷を付けないように注意してください。傷をつけると、接続部から空気が漏れることがあります。

- 空気チューブの中に、小石やごみ、ちり、ほこりなど異物が入らないように注意してください。

- 空気チューブは奥に当たるまで差し込んでください。(差し込み代=15mm)

十分に差し込まれていないと、接続部からの空気が吸い込まれ、ふろ自動中に水位がばらつく原因となります。

- 空気チューブの許容長さおよび、許容高低差はふろ配管と同じです。

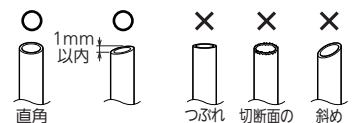
- 配管穴に通す際は、配管曲げ部の内側にならないようにしてください。空気チューブが穴の角に押し付けられて、つぶれることがあります。

- 折れやつぶれのないよう余裕をもって引き直し、適切な長さで切断してください。

- 長いままで使用し、ループさせないでください。ループ内に溜まった水滴が抜けなくなることがあります。

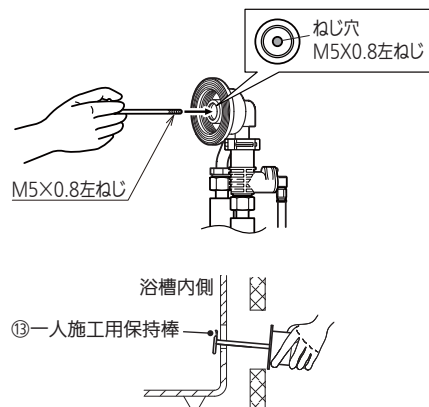
- 突っ張った引き直しをしないでください。温度変化により、空気チューブが収縮し、空気が吸い込まれるなどの不具合が生じることがあります。

- 空気チューブの最小曲げRは30mmです。



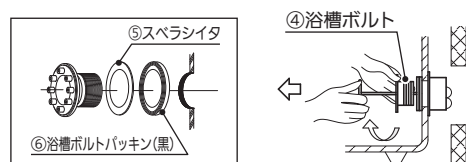
(7) ③一人施工用保持棒を⑨浴槽アダプターボディの奥にあるねじ穴(左ねじ)へ固定し、浴槽外側から浴槽に開けた取付穴に引っ掛ける

※ねじは手で回らなくなるまでしっかり固定してください。



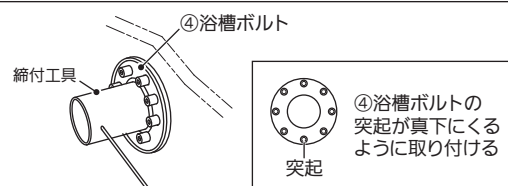
(8) 浴槽内側から③一人施工用保持棒を引き寄せ、⑤スペラシタと⑥浴槽ボルトパッキン(黒)を通した④浴槽ボルトを③一人施工用保持棒に通し、④浴槽ボルトを⑨浴槽アダプターボディが外れない程度までねじ込む

※パッキン類は、必ず図の順で取り付けてください。
正しく取り付けないと水漏れします。



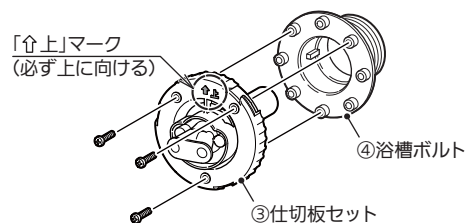
(9) ③一人施工用保持棒を外して手締めで右に止まるまでねじ込み、その後、専用の締付工具(別売部品 形名:GT-75KA)にて、約3/4回転回して固定する

※締付けが強すぎると④浴槽ボルトが破損し、水漏れするおそれがあります。
※取付後、専用の漏れ検査治具(別売部品 形名:GT-75KMA)を使用して漏れ検査を行ってください。



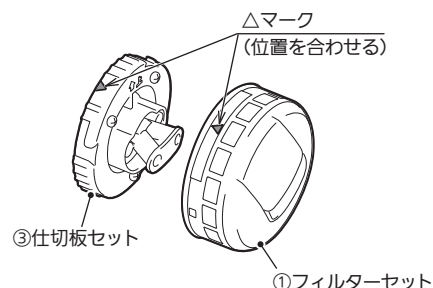
(10) ③仕切板セットの「上」マークが上になるように、③仕切板セットを④浴槽ボルトにねじで固定する

※必ず「上」マークが最も上になるよう取り付けてください。取付け方向が正しくない場合は、湯はりや追いだきが正常にできない場合があります。



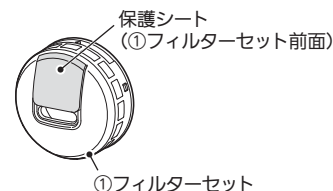
(11) ③仕切板セットの△マークと、①フィルターセットの△マークを合わせはめ込み、右に止まるまで回す

※取付後、容易に取り外せることを確認し、再度、取り付けてください。
※浴槽アダプターからは熱いお湯が出ることがありますので、注意してください。
※強酸性の洗剤や塩素系のカビ洗浄剤は、①フィルターセットや②ねじを傷める原因となりますので、使用しないでください。
※①フィルターセットは、必ず取り付けでご使用ください。取り付けずに運転すると、機器の故障の原因となります。



(12) ①フィルターセットに貼付された保護シートをはがす

※保護シートをはがさずに試運転を実施すると、循環不良となり試運転が完了しない場合があります。



貯湯ユニットへの接続と浴槽アダプターへの接続を異なる日に実施する場合

- 風呂配管及び空気チューブの接続口は異物(石等)が入らないように養生してください。
- 空気チューブは、風呂配管に沿わせて配管ください。

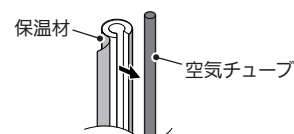
据付工事後の確認

- (1) 空気チューブと保温材(空気チューブ用)は当社別売部品を使用していることを確認する
空気チューブ:GT-PCB5、GT-PCB10、GT-PCB15 保温材(空気チューブ用):GT-PDN5
- (2) 浴槽アダプターの「行き」とふろ配管の「行き」、「戻り」と「戻り」が接続されていることを確認する
- (3) 浴槽アダプターのクイックファスナーが外れていないことを確認する
- (4) ふろ配管工事終了後、浴槽アダプター漏れ検査治具(別売部品 形名:GT-75KMA)を使用して漏れ検査を実施する
詳細は浴槽アダプター漏れ検査治具に付属の工事説明書をご覧ください。
- (5) ①当社電気給湯機の据付工事説明書にしたがって、試運転湯はりを実施する
②ホットあわーが正しく動作することを確認する

保温工事

配管接続部に水漏れがないことを確認後、ふろ配管、空気チューブに保温工事をしてください。

- (1) 空気チューブを保温材(空気チューブ用)で覆う
※空気チューブを保温、遮光するために必ず保温材を巻いてください。



- (2) ふろ配管に沿わせて配管する
※直接ふろ配管には接触させないでください。
(熱で空気チューブが劣化するおそれがあります。)
※空気チューブの最小曲げRは30mmです。

